

地図帳をフル活用した「県の概要」の学習

松前町立岡田小学校 二宮和広

1. はじめに

学習指導要領では、「地図帳を自由に活用する知識や能力を身に付けさせること」を重視している。そのためには、意図的・計画的に地図帳の活用の仕方についての指導を行っていくことが必要である。ここでは、「愛媛県の概要」の学習を例に、帝国書院『小学生の地図帳(最新版)』(以下、地図帳)を使った活用指導について紹介する。

2. 地図帳を活用した「愛媛県の概要の学習」

索引を使って愛媛県の位置を確認する。(何度も行う)

「地図であそぼう」(地図帳 p.3、4)を使って、県の学習に興味をもたせる。

ア. 愛媛県に色をぬる。

イ. 愛媛県の形が何に見えるか想像する。

ウ. 昔は「伊予」と呼ばれていたことを見つける。

エ. 四国地方にあることを見つける。

オ. 日本の南にあることや近くの県を調べる。

県内における自分たちの市町村の地理的位置を調べる。(地図帳 p.23、24 を活用)

TP をのせる



ア. 自分たちの市町村の位置を隣接する市町村の関係から調べる。

イ. ある地点からの方位と距離を用いて表す。

方位と距離の凡例を OHP に印刷し、子ども一人ひとりに持たせる。それを移動させながら、ある地点からの自分たちの市町村の方位と距離を表す。

県全体の地形やおもな産業の概要、交通網のようすやおもな都市の位置を調べる。

ア. 「わたしたちの県(都道府)のようすをしらべてみよう」(地図帳 p.7、8)を使って、地図を活用した県の概要の調べ方を学習する。

イ. 「愛媛県のようす」を調べる。

地図帳の p.23、24 を使って、下記のことを調べる。

地形のようす(山地と平地の割合、海岸線の形、高い山(四国一の石鎚山) おもな山地や平地、島、川、海などの位置と広がりなど)

おもな産業のようす(田や畑で作られている作物や水産物と地形との関係、工場で作られている製品、伝統工芸品)

交通網のようす(県内を通るおもな道路や鉄道、おもな港や空港の位置、おもな都市の位置と地形・産業・交通との関係)

ウ. 疑問に思ったことを地図帳で調べる。

地図帳の p.53、55、59 などを使って、地形についての用語の意味、産物の生産量等の全国的な位置などを調べる。さらに、疑問に思ったことは、副読本やインターネットなどを使って調べる。

3. おわりに

地図帳をフル活用すれば、県の概要について調べたり、新たな問いをもたせ次の学習に生かしたりすることができる。今後も地図の活用能力を高めていきたい。

